

五ヶ瀬町立三ヶ所小学校の学力向上への取組

1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果から見た課題

(1) 学力調査結果からの課題

- (国語) ・ 県平均に比べ、全体的に到達度が低く、上位と下位の児童の差も大きい。
 - ・ 文章を読みとる力が不足している。
- (社会) ・ 下水処理、ゴミ処理、水道、博物館の使い方など五ヶ瀬町と他の地域と仕組みが異なるものについての理解が不十分である。
 - ・ 年表やグラフの読みとりができていない。
- (算数) ・ 「数と計算」「数量関係」領域の到達度が低く、県平均と比べ特に差が大きい。
 - ・ 「十進位取り記数法と数直線」「分数の大小」「折れ線グラフの読みとり」に関する問題の通過率が県平均と比べ特に低い。
- (理科) ・ 「応用」に関する問題の通過率が県平均と比べて特に低い。
- (全体) ・ どの教科についても、「関心・意欲・態度」に関する意識が低い。

(2) 意識調査結果からの課題

- 「学びの基礎力」「生きる力」ともに県平均を下回っているものが多い。
- 読書量が少ない。
- 家庭での指導援助について肯定的な解答をしている児童の割合が低い。
- 学力調査で「国語、算数、社会が好き」と答えた児童は半数以下である。
- 学習時間は県平均を上回っているが、学力調査の結果にそれが反映されていない。
- テレビを見る時間やゲームをする時間が県平均を大きく上回っている。睡眠時間や起床時間も含め、基本的な生活習慣が身に付いていない児童が多い。

2 学力向上に向けた課題解決への具体的な取組

(1) 学力向上に向けた経営方針

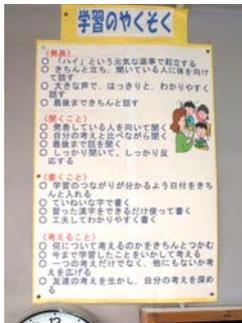
- 学習指導法の改善と指導技術の向上
- 基本的学習習慣の定着と学ぶ意欲・学び方の育成
- 児童の実態把握に基づく個に応じた指導の推進
- 読書活動の充実
- 保護者との連携による家庭学習の充実
- 小中連携による学力向上の推進と英語活動の充実

(2) 教育課程内の取組

- ① 主題研究を中心とした校内研修の充実
昨年度は算数科、今年度は国語科で「基礎・基本を身に付け、意欲的に学ぶ子どもの育成を目指して」の研究主題のもと、研究実践を重ねてきている。理論研究だけでなく日々の実践を重視し研究授業も学級担任全員が一人一回は行うようにした。
- ② 「知」に関する目指す児童像の具体化と到達目標の設定
目指す児童像である「よく考え勉強に励む子」について、具体的な変容の姿や変容を促すための具体的な方策を目標や指導方法の工夫として学級経営案に位置づけ、日々の実践に取り組んできた。学期末にその結果を自己評価・反省し、次の段階の目標設定を行った。
- ③ 学習習慣の徹底と学習環境の整備
学習の基礎となる学習習慣を定着させるために、児童に身に付けてほしい学習習慣である「学習のやくそく」を作成した。また、教室内の学習環境として「話型表」「問題解決的な学習の流れ」「反応名人になろう」を掲示し見通しをもった意欲的な学習を目指した。
また、前時までに学習した内容を掲示し学習意欲を喚起するための「算数コーナー」や単元の学習内容のまとめや次の単元に関連する内容を掲示する「あしあとコーナー」を設置し学習に対する興味や関心の持続を図った。
更に、校内に低・中・高学年ごとの「算数コーナー」「国語コーナー」を設け、学習した内容の復習や学習クイズ的な問題を毎月出題し日常的に取り組ませた。

④ 指導体制の工夫

基礎・基本の定着を図るために複数教員で指導にあたるようにした。算数科におけるT・T担当教師とのチーム・ティーチング、学級担任と教頭によるチーム・ティーチング、専科や放課後の時間を利用した学級担任とペア学年担任によるチーム・ティーチングを計画的に行った。



【学習のやくそく】



【算数コーナー】



【T・Tによる指導】

(3) 教育課程外の取組

① 校時程の工夫

授業前の朝自習の時間の活用として、月・木・金に朝の10分間読書、水曜日は20分間のチャレンジタイムを計画し、単元の復習や計算力向上のための問題に取り組みさせた。

② 夏季休業中の算数教室

算数学習に苦手意識を持っている児童や学習内容の定着が不十分な児童を対象に算数教室を行った。全学年までの内容を中心とした診断テストを実施し、その結果をもとに少人数グループで指導した。

③ 読み聞かせ会

読み聞かせボランティア「つくしんぼ」の方による読み聞かせを月に1回程度、学級担任による読み聞かせ会や保護者ボランティアによる読み聞かせ会を計画的に行い、児童に読書の楽しさを体験させ、読書意欲を高めた。

(4) 保護者・家庭、地域との連携

① 学校便り

毎月学校便りを発行し、学校内の様子を積極的に情報公開し、家庭・地域の教育力向上のための啓発に努めている。

② ホームページの更新

毎月定期的に学校便り等のお知らせや学校行事等に関するホームページの更新を行い、本校の経営方針や教育活動などを公開している。

③ 夏休み個人面談の実施

夏休みに全家庭を対象にした個人面談を実施し、学習・生活面の資料をもとにした個に応じた学習の在り方や家庭での協力等についての連携を深めた。

3 成果と課題

(1) 成果

- 学力向上に関する校時程の工夫や指導方法の工夫改善、家庭との連携を通して個別指導の充実が図られた。
- 学習の振り返りや学習意欲を持続させるための学習環境の整備を行い、児童の学習意欲が高まり、確かな習熟や定着につながっている。
- 読書活動の充実により、児童の読書意欲が高まり貸し出し冊数が増えてきている。

(2) 課題

- 学力検査の結果をもとにした学年差や到達状況に応じた指導法の工夫改善を図る。
- 小中連携と到達目標による取組の充実を更に図る。